

## さいたま市北部拠点宮原地区街路基本設計

所在地： 埼玉県さいたま市  
 発注者： 埼玉県さいたま市／(財)都市づくり  
 パブリックデザインセンター

期間： 2000～2001  
 道路延長： 加茂宮広路線 約 600m  
 さくら中央通線 約 725m  
 さくら北通線 約 500m  
 さくら東通線 約 280m  
 区画道路 総延長 約1,845m

業務概要： 修景設計

設計内容： 舗装、植栽、ストリートファニチャー（ベンチ、ポラート）、照明設計

賞： 2004年彩の国景観賞  
 2004年 IWASAKI環境照明賞優秀賞  
 2005年都市景観大賞美しいまちなみ特別賞

「公共空間デザイン指針」で位置づけられた各街路のデザイン・テーマに基づき、舗装、植栽、ストリートファニチャー、街路灯について以下のような基本設計を行った。

舗装材は、「まちづくり協議会」とのあいだで合意した地域の色（ベージュ色）とし、環境に配慮して透水性ブロックを採用、色味と性能の確認をかねて試し貼りを実施した。舗装パターンは、各街路毎に特徴を持たせつつ、地域全体では調和がとれるよう、共通性のあるパターンとした。

照明は、都市計画道路、区画道路など道路の位置づけに基づき、車道の輝度、歩道の照度、配置ピッチを設定した。骨格道路ではシンボル性を強調するため、車道用照明を片側配置としている。

宮原地区に計画されていた2本のコミュニティ道路のうち1本は、集合住宅が立地する沿道街区に配慮して、双方向の車道交通を一方通行に、道路形状もクランク型に変更した。広くなった歩道部にはベンチを配置するなどして、近隣の子供たちが安全に遊べる道路となる工夫を施した。道路毎に適正な緑量（高木の本数）を設定し出入口等との関係で緑量が極端に少なくならないように配植ピッチを工夫している。

